

中東情勢の緊張緩和と平和的解決を求める決議

中東地域における軍事衝突は３か月が経過したが、今も緊張状態が続いている。事態の長期化は、人道的危機を深刻化させるだけでなく、中東地域の更なる不安定化を招き、世界の平和と安定にも深刻な影響を及ぼしている。また、原油の供給不足によるエネルギー価格の上昇や物価高騰など、日本国民及び白鷹町民のみならず、世界各国にも影響を及ぼし、不安をもたらしている。

いかなる立場の違いがあつたとしても、これ以上の武力衝突の拡大を避け、事態を沈静化させるべきであり、対話と外交努力による平和的解決が強く求められている。

平和都市宣言を掲げている白鷹町において、本議会は、日本国政府に対して、国際社会と連携し中東情勢の緊張緩和と平和的解決、そして、物流の安定に向けて外交努力を一層強化することを求める。

以上、決議する。

令和８年６月１１日

白 鷹 町 議 会